

薬物に関する基礎的な知識と

適切な関わり方について

薬物依存症とは、薬物をやめたくても自分の力ではやめられない病です。従来、薬物使用者への対応は刑罰が中心でしたが、近年は有効な治療プログラムが開発され、地域で支援を受けながら社会復帰を目指すように方針転換が図られています。しかし地域の支援者からは「どのように関わればよいのか?」「どんな支援があるのか?」など、薬物依存症者への対応に戸惑う声をよく聞きます。今回は、多くの治療プログラムを開発するなど、わが国の薬物依存問題の研究と治療の最前線で活躍中の講師をお呼びし、講演とグループワークを行います。この機会に是非ともご参加ください。



講師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長（精神科医）

松本 俊彦 先生

平成28年5月31日（火）午後1時～5時

会場：仙台市障害者総合支援センター（ウエルポート仙台） 研修室1

※研修参加申込書・事前照会をご記入の上、5月20日（金）まで送付下さい。

▷講師略歴

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
薬物依存研究部 部長 / 自殺予防総合対策センター副センター長
佐賀大学医学部卒業後、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部
部附属病院精神科、国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学
研究部などを経て現職。薬物依存症を始めとした物質使用障害の治療プロ
グラム(SMARPP)の開発者である。その他、『いまどきの依存とアディクション』
(南山堂)『もしも「死にたい」と言われたら 自殺リスクの評価と対応』
(中外医学社)など、薬物問題、アディクション、自死についての著作
多数。

●お問い合わせ先●

仙台市精神保健福祉総合センター
(はあとぼーと仙台)
相談係 宗田・塩見
JEL022-265-2191

仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）

研修参加申込書

申込日 平成 年 月 日

研修名 担当者名	担当者名（ ）
開催日	平成 年 月 日（ 曜日）

【参加者】

所属機関・部署名 担当者名	担当者名（ ）		
連絡先	電話番号：		
	Eメールアドレス：		
参加者	氏名	職名・職種	備考

通信欄

--

仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぽーと仙台）

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字三居沢 1-6

TEL：022-265-2191

研修申し込み専用Eメールアドレス：heartport_kensyu@city.sendai.jp

※FAXでの申し込みはご遠慮願います。

郵送またはEメールで申し込みくださいますようお願いいたします。

平成28年度 アルコール(薬物)問題研修講座 事前照会

問1. 施設(所属機関)において薬物関連問題の相談はありますか? 【あり・なし】
もしあれば、薬物関連問題の相談対応で何か困ったことをご記入ください。

問2. 施設(所属機関)における薬物関連問題の取り組みはありますか? 【あり・なし】
もしあれば、薬物関連問題の取り組みを簡単にご記入ください。

問3. 今回の研修でどのようなことを知りたいですか。または期待していますか?

【申し込み方法】研修参加申込書および事前照会をご記入の上、併せてご送付ください。

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字三居沢1番6号

仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぼーと仙台) 相談係 宗田・塩見宛

E-mail 申込書と事前照会を添付の上、下記のアドレスにお送りください。

Mail: heartport_kensyu@city.sendai.jp

*様式は、当センターHPの「研修申込み」のページよりダウンロードできます。

*件名に「アルコール(薬物)問題研修講座申込」とご記入をお願いします。

*ご不明な点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

担当: 相談係 宗田・塩見 TEL022-265-2191